

車いす体験

。車いすは自分一人でだんさそのぼるのが
とても大変でした。坂道を一人でのぼる

のはうでの力を使いました。曲がるところ

は大きかりして曲がらなきやぶつか

るからあぶないので大変でした。

車いすにのこまている人がいたら

たすけてあげる。

（想像力が、想像）

アイマスリにティッシュを付けて、目を

かくして点字ブロックの上を歩き

ました。目をかくすと何も見えなくて

こわかったです。自分では、ま、すぐ歩いてい

るつもりでもベアの人からよく、ななめに

な、てるよ。と言われ、まじした。だんさの近くに

なるこ、ドキドキしました。

点字ブロックの上に物があいてあたら

こかすようにしよう。

（高れり者体験）

。足くび、ひざ、手くび、うで、におもりを付けて、

4枚のチョッキを着て、つえをついて、ヘッドホンを付け

て、スノーメカネをつけて、おとしより体験をしました。

メカネを付けて、青い色を見るとき、うさぎに見えさ

した。チョッキはおもくて首がいたくなりしました。

ひざがまがらないので、かいたんをのぼるが大変でし

た。それにうでも曲がりにくいので、かゆいところがけま

せんでした。

☆こまている人がたすけてあげる。



想像



。車いすは、坂道になるとバランスをくずし
てとてもあぶないので、かいたんの人がいると

少し安心だと思えます。

・目が見えないといこかおきやすいので、きけんた

て思います。

・しょうかいをもてる人や、お年よりの人でこまて

いる人がいたら、たすけてあげることが

大切なことだと思います。



車いすイ本馬

車いす体験は、おす人と乗る人交いでやりました。



おすとき

おすときは、返道で乗っている人で、上に上っているので、入変そうでした。だから、すこしおして、楽にさせてあげました。たんさがあるところは、カいけいけ上にあげて、おししました。たんさの所は、とても大変でした。

のるとき

のるとき、車いすのタイヤをまわすときは、手かかともいたから、したんさの時、車いすにのって、たんさをおりると、大きなうけととかんじて、とてもこわかったです。カい、ごんしか、ないところは、なるべくエレベーターをつけるようにしているんです。でも、お金がしつうだから、大変。車いすに乗っている人は、思うようにいなくて、たいへんだなと思いました。

視覚障がい者イ本馬



安かやく

自分か、思った所とはちがう所にいてしまったので、大変でした。教えることもむずかしかったです。

目の見えないうちのやく

どこをあるいているのかは、たくなかたないし、たんさかこわかったです。点いブロックかなき、大変だと思いました。しょうがい、うづや、かいた、た、も、大変で、あぶないなと思いました。目か見えないうちで、こまていたが、

助けてあげたいなと思いました。



このように本当に入変です。

車かはいしているところは、どうれい、とくにあぶないです。

車いすイ本馬

ほくき 新聞



感想

車いすに乗っている人は、たんさがある所は、大変で、返道も大変だなと思いました。視覚障がいの方は、目か見えないうち、たんさがあるし、人換しようか、ぶつかがあるからあぶないし、大変だなと思いました。こうれい者体験は、あんなに体かおもうようにうごかないんだなと思いました。目も少しみえなくて、大変だなと思いました。このほか、いこまている方かいたが、助けてあげたいなと思いました。

車いすイ本馬 4/3/2

「高れい者体験」では

杖やだじゅうに、いろいろな物を着けて、歩いたりかいだんを上ったりする体験でした。足がまがらなくてかいだんを上るのが大変でした。さらに、ひじがまがらないと、とりた物がとれなくて大変でした。ヘッドホンをつけたので耳も聞こえなくて「耳が悪くなるとこんな風になるんだ」と感じました。



ほくき新聞



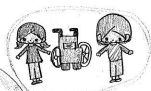
「しかくしょうがい者体験」では

始めてだったので、だんさがとてもこわかったです。てんじブロックがない所ではすべてつえが命づななんだと思った。たまに、てんじブロックに、にたような歩道があったので、こわがた。「目が見えない人は、こんなに大変なんだ」と感じた。



「車いす体験」では

自分一人でだんさがある場所上には、後に下がりながら行かないと、上れないことが分かった。急な坂があると、右や左にまがってしまって、「車いすの人は大変だな」と思った。車いすに乗っていると、ふっつの自分たちが、かんたん



「これからの自分」

高れい者の方、おじいちゃん、おばあちゃんにはやさしくする。車いすの方には、だんさなど

でこまっていたらたすける。しかくしょうがい者の方には、少しでも声をかけてたすけて上げる。

